

- 問1 東京23区の人口統計では、夜間の人口よりも昼間の人口が非常に多いという特徴があります。また、事業所数や大学数が非常に多いというデータも確認できます。このような人口の移動が起こる背景として、最も適切な説明はどれですか。周辺の埼玉県、千葉県、神奈川県などの状況をふまえて答えなさい。 (2016年 三重県公立入試 類似)
1. ドーナツ化現象によって都心部の夜間人口が急増し、それに対応するために周辺の県から食料や物資を運ぶ人が増えたため。
 2. 少子高齢化の影響により、都心部で働く現役世代が不足したため、周辺の県から高齢者がボランティア活動のために流入しているため。
 3. 都心部の再開発によって大規模な住宅団地が次々と建設され、周辺地域から夜間に帰宅する人々が急増したため。
 4. 都心部に官公庁、企業、大学などの都市機能が集中しており、周辺の県から多くの人々が通勤・通学してくるため。
- 問2 関東地方では、東京などの巨大な消費地に近いという立地条件を活かした農業が盛んです。このように、大都市の周辺で行われる、鮮度が重要視される野菜などの生産を主目的とした農業形態を何と呼びますか。 (2018年 沖縄県公立入試 類似)
1. 近郊農業
 2. 施設園芸農業
 3. 商業的農業
 4. 促成栽培
- 問3 東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県の鉄道利用率が全国平均の23%を大きく上回り、40%から60%近くに達している統計結果があります。このような公共交通機関への依存度が高い地域において、大地震などの災害により鉄道が長時間停止した際、自宅が遠いために徒歩での帰宅が難しくなる人々を何と呼びますか。 (2019年 岩手県公立入試 類似)
1. 避難指示対象者
 2. 仮設住宅入居者
 3. 帰宅困難者
 4. 昼間人口減少者
- 問4 生産農業所得統計のデータによると、関東地方は農業産額が2兆円を超える国内最大規模の農業地域であり、その内訳において「野菜」が占める割合が約41.5%と非常に高いことが特徴です。このように関東地方で野菜の生産割合が高くなっている理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2018年 沖縄県公立入試 類似)
1. 山がちな地形を活かして、水はけの良い傾斜地で果樹栽培に特化しているため
 2. 大消費地に近い利点を活かし、鮮度が求められる作物を効率よく供給できるため
 3. 冬でも温暖な気候を利用して、他の地域よりも出荷時期を早める工夫をしているため
 4. 広大な十勝平野のような土地を活用し、大規模な機械化による生産を行っているため
- 問5 日本の農業統計において、ピーマンやほうれん草の収穫量が全国1位、はくさいが全国2位となっている茨城県では、その地理的条件を活かした農業が盛んです。東京などの大消費地に隣接しているという利点を最大限に活用したこの農業形態の名称として、最も適切なものはどれですか。 (2024年 福井県公立入試 類似)
1. 抑制栽培
 2. 地産地消
 3. 近郊農業
 4. 促成栽培
- 問6 冬の関東平野において、北西から吹く季節風が非常に乾燥している理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2023年 和歌山県公立入試 類似)
1. 日本海を渡る際に蓄えた水分が、山脈を越える際に雪や雨として落ちるため。
 2. シベリア大陸から吹いてくる風が、海を一切通らずに直接関東へ届くため。
 3. 関東山地の標高が低いため、海からの湿った空気が入ってこないため。
 4. 太平洋の上空を通過する際に、黒潮の影響で水分が蒸発してしまうため。
- 問7 栃木県の地形と冬の気候の特色を述べた次の文のうち、誤っているものはどれですか。なお、栃木県内には渡良瀬川や鬼怒川が流れ、北西部には標高の高い山地が連なっているものとします。 (2022年 岡山県公立入試 類似)
1. 夏は南東の海側からの季節風の影響を受け、冬に比べて降水量が多くなり、雷が発生しやすい。
 2. 冬は南東の海側から吹き込む湿った季節風の影響で、平野部でも毎日多くの降雪が見られる。
 3. 冬の日照時間が長いという気候条件を活かし、ビニールハウスなどを用いた「いちご」の栽培が盛んである。
 4. 冬には北西の山地側から「男体おろし」などと呼ばれる乾燥した冷たい季節風が吹き下ろす。
- 問8 ある工業地域の出荷額の割合を示した統計資料によると、機械工業が約四十五パーセントと最も大きな割合を占め、次いで食料品が約十五パーセント、金属が約十四パーセント、化学が約十パーセントとなっています。このように機械工業を中心に多種多様な工業が混在し、内陸部に多くの工場が進出している背景として、最も重要な要因は何ですか。 (2022年 山口県公立入試 類似)
1. 掘込港湾の建設により、大型の貨物船による原材料の輸入が容易になったこと
 2. 高速道路網の発達により、トラックによる迅速な輸送が可能になったこと
 3. 冷涼な気候を活かして、精密機械の組み立てに必要な環境が整っていたこと
 4. 近隣に大規模な油田があり、石油化学工業の原料を安価に調達できたこと
- 問9 日本の河川と関東地方の冬の気候について述べた文として最も適切なものを、次のうちから1つ選びなさい。 (2026年 徳島県公立入試 類似)
1. 日本で最も流域面積が広い河川は信濃川であり、冬の関東地方には南東からの季節風が吹く。
 2. 日本で最も流域面積が広い河川は利根川であり、冬の関東地方には南東からの季節風が吹く。
 3. 日本で最も流域面積が広い河川は信濃川であり、冬の関東地方には北西からの季節風が吹く。
 4. 日本で最も流域面積が広い河川は利根川であり、冬の関東地方には北西からの季節風が吹く。
- 問10 関東地方の地形と土壌の関係について、関東平野の台地を広く覆い、その性質から畑作や茶の栽培に利用されてきた「赤土」の層は、主にどの火山の活動によって形成されましたか。 (2021年 静岡県公立入試 類似)
1. 富士山・箱根山
 2. 大雪山・十勝岳
 3. 雲仙岳・阿蘇山
 4. 阿蘇山・桜島
- 問11 主要都市の人口特性を比較した統計において、大阪市の昼夜間人口比率が131.7であるのに対し、さいたま市の数値は93.0となっている。このさいたま市の数値が示す都市の性質として、最も適切なものはどれか。 (2020年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 昼間人口が夜間人口よりも多く、周辺地域から多くの労働者や学生を吸引させる地方中心都市としての性質
 2. 夜間人口と昼間人口がほぼ等しく、住居と職場が同じ地域内に共存している職住近接の都市としての性質
 3. 昼間人口が夜間人口よりも少なく、東京都など周辺の都市へ通勤・通学する人が多いベッドタウンとしての性質
 4. 昼間人口が夜間人口を大幅に上回っており、観光や商業の拠点として昼間の人口密度が極めて高い都市としての性質
- 問12 北関東工業地域では、かつての「内陸に点在する形態」から「高速道路の付近に集中する形態」へと工場の立地が変化しています。このような立地の変化が起こった主な目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2017年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 原材料や製品の輸送効率を高めるため
 2. 工業用水として利用する海水を確保しやすくするため
 3. 船を利用して海外へ製品を安く大量に輸出するため
 4. 鉄道を利用して労働者が通勤しやすくするため